

# 協同労働で実践する地域づくり

## 沖縄県宮古島市狩俣地区の紹介



日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
かりまた共働組合 理事 國仲義隆

## 協同労働との出会い

狩俣に  ピタリ!

## かりまた共働組合

### 地域づくりを仕事にする新しい働き方。

働く人たちが出資して組合員となり、組合員一人ひとりの意見を反映させながら運営し、ともに働く

第1回学習会  
(2021.11.3)

設立総会  
(2022.11.7)

法人登記  
(2022.12.7)

かりまた共働組合の業務分担 → チーム制を導入  
2024.10.23 時点 組合員数 7名 外部監事1名  
むすびや (1名) ・ いんぱり (2名) ・ ばぎだま (4名)

むすびや：地域のニーズに対応したお弁当・惣菜づくり

いんぱり：モズクを中心とした海産物の6次産業化

ばぎだま：EV送迎・地域清掃・キャンプ、視察対応など

### 2022.12沖縄県初の労働者協同組合設立

7名(主婦・漁師・会社員・団体職員・自治会役員)  
お互いのスタイルを尊重し3チーム制でスタート

#### 2023年

- 6月 ワークスコープ連合会へ正式加盟
- 8月 『夏休みこども食堂』

#### 2024年

- 1月 『JALパック：地域づくりツアー』
- 3月 台湾視察『リトル台湾』『長栄大学』
- 4月 狩俣モリンガプロジェクトキックオフ
- 5月 空き家サミット(台湾×アメリカ×ブラジル)
- 8月 長栄大学 宮古島サマーキャンプ
- 9月 国土交通省『空き家対策モデル事業』  
モリンガ初収穫→6次産業化へ  
土づくり事業(サトウキビバガス再利用)
- 10月 メタバース×伝統継承×空き家×SDGs

2

## かりまた共働組合を設立して良かったこと

- ① ボランティアから協同労働へ意識変換
- ② 働く仲間との積極的な意見交換と実践
- ③ ライフワークと自分の居場所の再発見
- ④ 連合会との連携による組合員との交流
- ⑤ 事業・収支計画による目標の明確化\*

令和5年度  
(決算前概  
算資料)

	むすびや	いんぱり	ばぎだま	かりまた共働組合
売上高	3,494,000	278,600	3,329,000	7,043,900
人件費等	4,332,000	236,700	3,034,000	7,603,500
差引損益	-838,000	41,900	295,000	-501,100

1. 令和5年度 事業活動のまとめ

初の年間を通しての事業活動であったが、設立当時からの課題が顕著に数字に表れる結果となった。公共性の強い、お弁当配食およびEVサポート事業において大幅な赤字となっている。令和6年度においては「いんぱり」の販路拡大を重点的に取り組み、単年度黒字を目指したい。

	むすびや	いんぱり	ばぎだま	かりまた共働組合
売上高	1,200,000	<sup>4</sup> 2,400,000	4,800,000	8,400,000
人件費等	1,000,000	2,000,000	4,000,000	7,000,000
差引損益	200,000	400,000	800,000	1,400,000

令和6年度 重点目標について

- ① むすびや ➡ 狩俣幼稚園休園に伴いお弁当配食およびセンター厨房使用の撤退・縮小
- ② いんぱり ➡ モズクの販路拡大、新商品の開発(オゴノリなど)、SNS等による情報発信
- ③ ばぎだま ➡ EV事業の縮小とキャンプ、企業研修、海ツアー、空き家事業等の拡充
- ④ 共働組合 ➡ 連合会を中心としたスケールメリットを最大限活用した取り組みを推進

令和6年度  
(予算案)

## かりまた共働組合の課題

### 1. チーム制の再構築 ➡ 事業別の人員配置と優先順位・年度目標設定

- ① 空き家 ② モリंगा ③ メタバース ④ 土づくり ⑤ 視察研修等
- ⑥ もずく・オゴノリ ⑦ 漁船ツアー ⑧ YouTube・映像関連
- ⑨ 弁当配食・料理教室等 ⑩ 連合会 ⑪ 清掃管理 ⑫ 経理業務

### 2. 事業別の資金調達と資金管理 ➡ 公的助成・補助金の活用など

- ① クラウドファンディング ② 銀行借り入れ ③ 共感投資

### 3. 黒字化へ向けた新規事業への展開

- ① 重機を利用した造成工事 ② 餅屋システム拡大 ③ SDGs 拡大



かりまかた共働組合の理念

新しい働き方で  
小さな幸せをもっと。



「地域をつなぐ」

**ご清聴ありがとうございました。**

**『たんでいガーたんでい』**